

## 目次

目次	1
凡例	3
<b>1 データ採取について</b>	<b>4</b>
1-1 データの種類	4
1-2 採取者の条件	4
<b>2 媒体データの採取</b>	<b>5</b>
2-1 媒体データシート	5
2-2 媒体識別コード	6
2-3 媒体名に関するデータ	7
2-4 通号および巻・号について	8
2-5 その他のデータ	9
<b>3 論文データの採取</b>	<b>10</b>
3-1 論文データシート	10
3-2 論文識別コード	10
3-3 論文名に関するデータ	11
3-4 ページ、言語、論文種別について	13
3-5 筆者に関するデータ	14
3-6 キーワードの採取	16
<b>4 こんな時、どうする？</b>	<b>18</b>
4-1 データ採取全般に関する疑問	18
4-2 媒体に関する疑問	18
4-3 筆者名に関する疑問	18
4-4 キーワードに関する疑問	19
4-5 言語に関する疑問	19
4-6 それでもわからないときは？	20
<b>5 付録・媒体番号一覧</b>	<b>21</b>

# INBUDS データ採取マニュアル

5-1 媒体番号順	21
5-2 アルファベット・よみ順	23

## 凡例

1. 採取するデータ項目は [ ] を用いて表記する。
2. 特に注意を促す場合、次のような書式を用いている。  
ここに書かれた情報には、必ず目を通してください!
3. 他のセクションを参照する場合には「 3-4」のように表記する。

## 1 データ採取について

### 1-1 データの種類

本データベースに蓄えられるデータは、大きくふたつの種類に分類できる。[ 媒体データ ] と、[ 論文データ ] である。

ここでいう「媒体」とは、論文などが収録されている雑誌・書籍などを指す。

また、「論文」とは、文字どおり学术论文を指すほか、翻訳・資料紹介・書評・シンポジウムの記録など、インド学・仏教学の研究に資するであろう文書すべてを指す。掲載媒体からの取捨選択は、協力機関の判断にゆだねられる（「4-1 データ採取全般に関する疑問」）。

### 1-2 採取者の条件

[ 媒体データ ] は、媒体の表紙・奥付などに印刷されているものがほとんどで、インド学・仏教学に関する専門知識を必要としない場合が多い。

逆に [ 論文データ ] については、論題に見られる専門用語のよみや、[ キーワード ] の採取などにおいて、専門的な知識やインド学・仏教学関連の辞書を引く能力などが要求される。特に [ キーワード ] の採取においては、採取者の論文読解能力が、その内容を左右することになる。

したがって、博士課程ないしそれに準ずる能力を有する人が担当するのがのぞましいが、その条件を満たすことができない場合は、管理者が責任を持って採取内容（これまでの例では、特に題名や人名の読みなどに間違いが多い）をチェックしていただきたい。

## 2 媒体データの採取

### 2-1 媒体データシート

[媒体データ]の採取には、次のようなデータシートを用いると便利である。  
シートは、データベースセンターで制作したものを使用する。

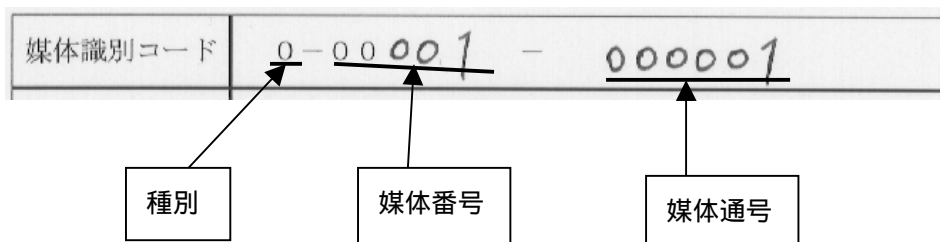
採取日	97 / 6 / 9			採取者	師 茂樹		
媒体識別コード	0-00001 - 000001						
よみ	いんどかくぶだきふかくけんぎョウ						
媒体名	印度学仏教学研究						
部編名	×						
特集・テーマ	東京大学における第一回学術大会						
媒体名(欧文)	Journal of Indian and Buddhist Studies						
通号	1						
巻	1	号		1			
発行年月日	19 52 年 7 月 20 日						
ISSN	0019 - 4344						
ISBN	- - -						
編著者	宮本 正尊						
発行者・社	日本印度学仏教学会						
発行国	① 日本 2. その他 ( )						
発行地	東京						

INBUDS [媒体データ] 採取シート  
Copyright ©1997 日本印度学仏教学会

このデータシートは、校正作業の際に使用したり、送付されたデータの疑問点についてセンターから各機関に問い合わせる場合のために、保存しておいていただきたい。

## 2-2 媒体識別コード

論文を収録する媒体（雑誌、論文集など）には、それぞれ一冊ごとに固有のコードを割り当てる。それが[媒体識別コード]である。これは、媒体の種類をあらわす[種別]と媒体固有の[媒体番号]、そして媒体の[通号]、あるいは[巻・号]からなる[媒体通号]からなる。



[種別]とは、その番号によって国内雑誌、外国雑誌、国内図書、外国図書などを示す。国内雑誌の[種別]番号は0である。

番号	[種別]
0	国内逐次刊行物（雑誌、紀要など）
1	外国逐次刊行物（雑誌、紀要など）
2	国内図書（論集、講座、単行本など）
3	外国図書（論集、講座、単行本など）

[媒体番号]は、各媒体固有の番号であり、データベースセンターが指定する（「5 付録・媒体番号一覧」）。

[媒体通号]は、各媒体の中で、それぞれの号・冊を識別する6桁の番号であり、媒体の通号または巻・号によって決定する（通号および巻・号については、「2-4 通号および巻・号について」を参照のこと）。

1. 両方ある場合は[通号]を優先する。

例：『印度学仏教学研究』37巻1号（通巻73号） 000073

2. [通号]がない場合は、[巻・号]を利用する。その際上位4桁を[巻]、下位2桁を[号]とする。

例：『東洋学報』第31巻1号 003101

3. 合併号の場合、若い方の番号を利用する。

例：『密教文化』第35号 000035

『密教文化』第36・37合併号 000036（000037は欠番）

『密教文化』第38号 000038

## INBUDS データ採取マニュアル

4. 図書の場合、シリーズの巻数などを利用する。1冊だけの場合は常に「1」である。

例：『講座大乘仏教』第1巻	000001
『講座大乘仏教』第2巻	000002
『唯識学研究』上巻	000001
『唯識学研究』下巻	000002

### 2-3 媒体名に関するデータ

よみ	いんどかく ぶだきふ かくけんきゅう
媒体名	印度学仏教学研究
部編名	×
特集・テーマ	東京大学における第一回学術大会
媒体名 (欧文)	Journal of Indian and Buddhist Studies

[媒体名]は媒体の名前のことであり、必ず記入しなくてはならない。ただし『』等は記入しない。

例：印度学仏教学研究

例：Nagoya Studies in Indian Culture and Buddhism: SaMbhASA

[よみ]は、[媒体名]に対するひらがなのよみである。ひらがな以外の記号はすべて省き、数字はアラビア数字に直す。

ただし[媒体名]がローマ字表記の場合、以下のように処置する。

1. 大文字は小文字にする。
2. ダイアクリティカルマーク付の文字は、ダイアクリティカルマークを外す（「4-4 言語に関する疑問 ダイアクリティカルマークとは？」）。
3. 記号と空白はすべてとり除く。

例：Nagoya Studies in Indian Culture and Buddhism: SaMbhASA

nagoyastudiesinindiancultureandbuddhismsambhasa

[部編名]は、各大学・機関の紀要論文集などでしばしばみられるもので、学校単位

# INBUDS データ採取マニュアル

で出す雑誌の中に、学部による分冊がある場合などに用いられる。同名の媒体がある場合は、特に必要である。

例：人文科学編

例：文学部哲学科・仏教学科編

[特集・テーマ]は、媒体各号における特集やテーマの名称を記入する。

例：仏教における戒の問題

例：×教授退官記念号

例：北海道大学における第三十九回学術大会紀要（二）

[媒体名（欧文）]は、媒体の巻末や裏表紙などに見られるものである。単に[媒体名]をローマ字表記したもので構わない。大文字・小文字などの表記については、媒体の表記にしたがう。また、[媒体名]がローマ字表記のものは、それをそのまま記入する。ない場合は記入しなくてもよい。

例：Journal of Indian and Buddhist Studies

例：THE OTANI GAKUHO

## 2-4 通号および巻・号について

[通号]および[巻・号]は、媒体一冊一冊に固有の番号である。[通号]と[巻・号]は、少なくともどちらか一方を記入する。

通号	1		
巻	1	号	1
発行年月日	19 52 年	7 月	20 日

雑誌における[通号]とは、媒体の通し番号のことで、雑誌の号が「通号」となっていないなくても、ひとつづきの番号で創刊号からの番号がふってあれば[通号]として記入する。

例：『印度学仏教学研究』37巻1号（通巻73号） 73

図書の場合、シリーズの巻数などを数値化する。1冊だけの単行本は常に「1」にする。

例：『講座大乘仏教』第1巻 1

『講座大乘仏教』第2巻 2

## INBUDS データ採取マニュアル

『唯識学研究』上巻	1
『唯識学研究』下巻	2

[ 巻・号 ] は、ふたつ以上のつづき番号で、1-1、1-2、1-3、2-1、2-2...というように、階層的に番号がふられている場合に記入する。

例：『印度学仏教学研究』37巻1号（通巻73号）

巻 = 37、号 = 1

例：『インド学』1997年春号

巻 = 1997、号 = 春（または1）

例：『講座ダルシヤナ』第1巻

巻 = 1、号 = 1

『講座ダルシヤナ』第2巻上

巻 = 2、号 = 1

『講座ダルシヤナ』第2巻下

巻 = 2、号 = 2

『講座ダルシヤナ』第3巻

巻 = 3、号 = 1

[ 発行年月日 ] は、媒体の発行された年（西暦）、月、日を記入する。

## 2-5 その他のデータ

これ以外にも、媒体にはそれぞれ固有の情報がある。[ ISSN ][ ISBN ][ 編著者 ][ 発行者・社 ][ 発行地 ][ 発行国 ] などである。

ISSN	0019 - 4344
ISBN	- - -
編著者	宮本 正尊
発行者・社	日本印度学仏教学会
発行国	① 日本 2. その他 ( )
発行地	東京

[ ISSN ][ ISBN ] は、媒体の表紙、裏表紙、奥付などに印刷されている。両方ある場合は両方記入し、古い媒体で ISSN や ISBN の表記がない場合は記入しない。

[ 編著者 ][ 発行者 ][ 発行国 ][ 発行地 ] は、それぞれ媒体の奥付等を参照のこと。なお [ 発行地 ] については、厳密な住所を要求するものではない。



## INBUDS データ採取マニュアル

論文識別コード	0-00 001 - 006001 - 001
---------	-------------------------

媒体識別コード

論文識別番号

[媒体識別コード]は、「2-2 媒体識別コード」の項で説明した通りである。これによって、論文が収録された媒体が識別される。

[論文識別番号]は、その論文が、ある媒体のある号の中で何番目にあたるかをあらわす番号で、協力機関が割り当てる。例えば、ある雑誌のある号に掲載されている論文が6編あったとして、そのなかの3件をデータとして採取する場合、番号は001から003となり、当該論文がその3件のうち2番目だとしたら、002となる。

例：原始仏教における止観	001
ピンチョン『V』の創作意図	×
法然と親鸞との比較研究	002
『大菩薩峠』勿来の巻研究	×
書評・『頭蓋学の手引き』	×
如来蔵思想の中古的展開	003

### 3-3 論文名に関するデータ

論文名は、[論題][論題よみ][論題(外国語)][副題][副題(外国語)]からなる。

よみ	とうぎいてつかく とぶつまよう
論題	東西哲学と仏教
副題	比較哲学的研究
論題(外国語)	Philosophies and Buddhism
副題(外国語)	a study in comparative philosophy

## INBUDS データ採取マニュアル

[ 論題 ][ 副題 ] は、文字どおり論文の原題名である。ローマ字の題名は、ダイアクリティカルマークを含めてそのまま記入する。ただし、かぎかっこ (『 』) や、副題にしばしば用いられるダッシュ (—) は除く。

例：『八千頌般若経』の心性本浄説について (II)

例：サーンキヤ体系に於ける akartRbhAva について (三)

例：WHAT KIND OF FOOD DID ZAKYAMUNI BUDDHA EAT ?

[ 論題よみ ] は、日本語の題の場合、ひらがなのみで記入し記号などは除く。論文の連番を示す数字はすべてアラビア数字に直す。ローマ字を含む場合は、以下のように処理する ([ 媒体名 ] の場合と同じ 2-3)。

1. 大文字は小文字にする。
2. ダイアクリティカルマーク付の文字は、ダイアクリティカルマークを外す (「4-4 言語に関する疑問 ダイアクリティカルマークとは?」)。
3. 記号と空白はすべてとり除く。

例：はっせんじゅはんにやぎょうのしんしょうほんじょうせつについて 2

例：サーンキヤたいけいにおける akartRbhava について 3

例：whatkindoffooddidsakyamunibuddhaeat

[ 論題 (外国語) ][ 副題 (外国語) ] は、媒体に欧文目次がある場合や原題が欧文の場合、それをそのまま記入する。無い場合は、記入しなくてもよい。

例：On the theory of the Innate Purity of Mind in the ASTasAhasrikA

PrajAparAmItA (II)

例：WHAT KIND OF FOOD DID ZAKYAMUNI BUDDHA EAT ?

掲載ページ	1. 左から(横書) ② 右から(縦書) 1 ~ 5
使用言語	① 日本語 2. 英語 3. フランス語 4. ドイツ語 5. 中国語 6. 韓国語 7. サンスクリット語 8. チベット語 9. 漢文 10. その他( )
論文種別	① 論文 2. 論文翻訳 3. 原典校訂 4. 原典翻訳 5. 目録・索引 6. 書評 7. 報告 8. 対談・シンポジウム・座談会 9. 講演 10. 伝記・死亡記事 11. その他( )

## 3-4 ページ、言語、論文種別について

論文の[掲載ページ][使用言語][論文種別]などについて、データを採取する。

[掲載ページ]については、いくつかの注意点がある。

1. 同じ巻の複数の号（例えば、第1巻第1号と第1巻第2号など）に、通しのページ番号と各号ごとのページ番号とがあるばあい、各号ごとのページ番号を優先する。
2. ひとつの媒体の中で縦書き・横書きが混在しており、かつページ番号のふりかたが縦書きと横書きとで異なる場合、通ページよりも縦書き・横書きそれぞれのページ番号を優先する。

[使用言語]は、論文の論述部分、いわゆる地の文に使用されている言語を記入する。引用文献や論題、用語などの言語は記入しない。

[論文種別]は、次の10種類のなかから選択する。

[論文種別]
論文
外国語論文の翻訳
原典校訂
原典翻訳
目録・索引
書評
報告
対談・シンポジウム・座談会
講演
伝記・死亡記事・哀悼記事

# INBUDS データ採取マニュアル

## 3-5 筆者に関するデータ

ここでいう[筆者]とは、編著者・資料紹介者・書評者・対談の参加者など、掲載されている文章・テキストの発表者を指す。複数人いる場合は、すべての人のデータを採取する。

よみ	すずき	よみ	だいせつ
筆者1姓	鈴木	筆者1名	大拙
筆者1姓 ローマ字	Suzuki	筆者1名 ローマ字	Daisetsu
執筆区分	①著 2. 共著 3. 訳 4. 共訳 5. 編 6. 共編 7. 監修		
所属・肩書			

[筆者姓][筆者名]は、文字どおり論文筆者の姓名を記入する。ローマ字表記の場合は、日本人の場合でも原表記のまま。日本人名がローマ字表記の場合、姓名を日本語の順序に直す。

[筆者性よみ][筆者名よみ]は、ひらがなのよみを記入する。ローマ字表記の場合も日本人名はひらがなに直す。

例：Atsushi Sato さとう あつし

日本人名をローマ字表記する場合、姓・名の位置を間違えないこと。

欧米人等で、姓名がローマ字表記の場合、以下のように処理をする（「4-3 筆者名に関する疑問」）。

1. 大文字は小文字にする。
2. ダイアクリティカルマーク付の文字は、ダイアクリティカルマークを外す（「4-4 言語に関する疑問 ダイアクリティカルマークとは？」）。
3. 記号と空白はすべてとり除く。  
例：Sylvain Lévi 姓よみ = levi、名よみ = sylvain  
例：George J. Tanabe, Jr. 姓よみ = tanabe、名 = georgejrr
4. 名前が3つ以上の場合、最後の名前を[筆者名]とし、それ以外を[筆者姓]として扱う。  
例：Willa Jane Tanabe 姓 = Tanabe、名 = Willa Jane  
ただし、「Jr.」や「II」などがつく場合も[筆者名]に含めます。

# INBUDS データ採取マニュアル

例：George J. Tanabe, Jr. 姓 = Tanabe、名 = George J., Jr.

名前が一つしかない場合は、[ 筆者名 ] に記入する。

中国人名などのよみは、原語に則ったローマ字表記にした上で、それを上記 1~3 のように処理する。

著者データ			
よみ	Sun	よみ	wu kong
筆者1姓	孫	筆者1名	悟空
筆者1姓 ローマ字	Sun 1	筆者1名 ローマ字	Wu 4 kong 1
執筆区分	1. 著 ② 共著 3. 訳 4. 共訳 5. 編 6. 共編 7. 監修		
所属・肩書	西天大学 助教授		

[ 筆者姓ローマ字 ] [ 筆者名ローマ字 ] は、日本人名の場合、通常のローマ字表記で記入する。中国・韓国人名等の場合、各国語のローマ字表記に従う。

人名のローマ字表記については「4-3 筆者名に関する疑問」「4-5 言語に関する疑問」を参照のこと。

[ 執筆区分 ] は、次の中から選択する。

## [ 執筆区分 ]

著  
共著  
訳  
共訳  
編  
共編  
監修

[ 所属・肩書 ] は、データ採取時点のものではなく、論文執筆時あるいは媒体刊行時のもの。不明な場合は記入しなくてもよい。

# INBUDS データ採取マニュアル

## 3-6 キーワードの採取

### キーワード採取の概要

キーワードは、[ 地域 ] [ 時代 ] [ 分野 ] [ 人物 ] [ 文献 ] [ 術語 ] からなる。

地域	西洋、インド、中国	時代	現代
分野	仏教、哲学、 比較哲学	人物	カント、仏陀
文献	般若経典 純粹理性批判	術語	prajñā 般若 無分別、アッリオリ

各項目についてデータを採取する。その際、次の点に注意すること。

- 1) 論題・副題に見える言葉は必ず採取する
- 2) 数については最大5個程度が望ましい。あまり多く採取しすぎると検索の際に不便をきたす場合があるからである。
- 3) 項目の中で該当するものがなければ採取しなくてもよい。

### 地域

[ 地域 ] は、インド、東アジアといったような文字どおりの地域名から、国名・都市名・寺院名などの地理情報までを含む。純哲学的な論文でない限り、必ずと言っていいほど関係してくるであろう。

例：インド、チベット、西域、中国、朝鮮半島、日本

例：南インド、北トルキスタン、江南地方、沿海州、東日本、中国地方

例：ブッダガヤ、ラサ、長安、南京、台湾、平安京、比叡山、東京

例：王舎城、ナーランダ寺院、大薦福寺、東大寺

### 時代

[ 時代 ] は、文中に登場する人物の活躍した年代や文献等が執筆された時代を採取する。「上代」「中世」などの用語は、地域によって年代が異なる場合があるので、「日本上代」「中国中世」のように地域名を付す。

# INBUDS データ採取マニュアル

例：紀元前 5 世紀、600 年代、1945 年

例：パーラ王朝、南北朝時代、唐代、江戸時代

## 分野

[ 分野 ] とは、研究分野と、そこに含まれる学説・学派・宗派などの名称である。

例：ヴェーダ学、インド学、密教学、性相学、日蓮宗学、西洋哲学、現象学、論理学、比較宗教学

例：シヴァ教、六派哲学、中期大乘仏教、チベット仏教、ニンマ派、南都仏教、浄土教、新興宗教

例：法相宗、浄土真宗、天理教

## 人物

同名異人がいる場合、区別のための語を適宜入れる。また、法名・通称・大師号などは、実名より知名度が高い場合などを除いてはなるべく使用を避ける。

例：慧遠<浄影寺>、慧遠<廬山>

例：鈴木貞太郎 鈴木大拙、伝教大師 最澄

## 文献

[ 文献 ] は、特定の文献名のほか、扱われている章題・節や、文献群の名称も含める。また、題名を『』でくくったりはしない。

例：ヴェーダーンタ・サーラ、法華経、中論、正法眼蔵、涅槃経<小乗>、法華経ケルン・南條本、ネパール語訳金光明経、アショーカ王碑文

例：華嚴経性起品、無量寿経五悪段、守護国界章卷上之下

例：ジャータカ、般若経典、浄土三部経

例：VedArtha-saMgraha、SaddhrmapuNDarIka Manuscript found in Gilgit

## 術語

他のキーワードに当てはまらないものは、すべてここに入れる。

## 4 こんな時、どうする？

### 4-1 データ採取全般に関する疑問

- □ □ 現代インドの経済や、地理についての論文は、採取するのか？

基本的に採取しません。インド学・仏教学の古典を扱う学術論文が、主な対象となります。「デスエデュケーションと親鸞教学」「インド思想における環境問題」などのように、現代の問題を論じたものであっても古典解釈が関わってくるものであれば、採取してもよいでしょう。

- □ □ よくある間違いには、どんなものがあるか

単純なスペルミスや誤記入・誤変換を除いては、仏教用語のよみに関するミスが圧倒的に多いようです。例えば「輕慢」を「かるめ」と読んだり、「慧林」を「けいりん」と読む例が見られます。

### 4-2 媒体に関する疑問

- □ □ ISSN とか ISBN って何？

逐次刊行物 (ISSN) や図書 (ISBN) などを一義的に識別するための標準コードで、国際的に標準化されているものです。もっと詳しく知りたい場合は、「JIS X 0305」及び「JIS X 0306」を参照してください。

- □ □ 「1997年春号」などの場合、[媒体通号]はどうなるのか。

このような場合は、春=1、夏=2、秋=3、冬=4、と考えて、[媒体通号]を「199701」などのようにしてください。

### 4-3 筆者名に関する疑問

- □ □ 日本人の名前がローマ字表記になっている場合は？

[筆者名][筆者姓]に関しては、目次などの表記に従います。姓と名を逆に記入しないように注意してください。

例：Miyamoto Syōson

[筆者姓よみ][筆者名よみ]に関しては、通常の日本人名と同じ扱いをします。ひら

## INBUDS データ採取マニュアル

がなによる読みを記入してください。

例：みやもと しょうそん

[筆者姓ローマ字][筆者名ローマ字]に関しても、通常の日本人名と同じ扱いをします。目次などの表記とは別に、長母音を無視した一般的なローマ字表記(4-5「10 日本語をローマ字表記するには？」)で記入します。

例：Miyamoto Shoson 「Syō」 「Sho」

### □ □ □ 名前が3つ以上ある場合は？

最後の名前を[筆者名]とし、それ以外を[筆者姓]として扱います。

例：Willa Jane Tanabe 姓 = Tanabe、名 = Willa Jane

ただし、「Jr.」や「II」などがつく場合も[筆者名]に含めます。

例：George J. Tanabe, Jr. 姓 = Tanabe、名 = George J., Jr.

### □ □ □ 名前がひとつしかない場合は？

古い論文には、「無明法師」のように通常の姓名では署名されていない場合があります。そういった場合には、[筆者名]に記入し、[筆者姓]は空欄にしてください。

## 4-4 キーワードに関する疑問

### □ □ □ 何個ぐらい採取すればいいの？

1項目(地域、時代など)について最大5個くらいを目安としてください。

## 4-5 言語に関する疑問

### □ □ □ ダイアクリティカルマークとは？

ローマ字で表記される欧文や、ローマナイズされたサンスクリット語・チベット語などを表記する際に、アルファベットの上や下についている記号のことです。

### □ □ □ 日本語をローマ字表記するには？

次表に示したようなローマ字のつづり方に従って表記してください。長母音などに、記号をつけたり(さとう Satō) hをつけたり(さとう Satoh)はしません。

## INBUDS データ採取マニュアル

a	i	u	e	o			
ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
sa	shi	su	se	so	sha	shu	sho
ta	chi	tsu	te	to	cha	chu	cho
na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ha	hi	fu	he	ho	hya	hyu	hyo
ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ya	(i)	yu	(e)	yo			
ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
wa	(i)	(u)	(e)	wo			
ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
za	ji	zu	ze	zo	ja	ju	jo
da	(ji)	(zu)	de	do	ja	ju	jo
ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

ただし、[ 論題 ] [ 筆者姓 ] [ 筆者名 ] [ 媒体名 ] などに、ローマ字表記が使われている場合は、それにしたがってください。

### □ □ □ 中国語をローマ字表記するには？

キーワードや人名には、基本的に北京語（普通話）で用いられるピンイン（拼音）を用いてください。声調は番号で表記します。ただし、題名については原表記に従ってください。

例：仏教（fójiào） fo2jiao4

ピンイン（拼音）への変換が困難な場合には、論文に記載されている表記に従い、その旨を注記してください。

### □ □ □ 韓国語をローマ字表記するには？

検討中です。

将来的には表記を統一する予定ですが、現段階では論文の表記に従ってください。

## 4-6 それでもわからないときは？

直接データベースセンターに、質問してください。

住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-33-5

日本信販ビル 東京大学仏教青年会内

電話・Fax : 03-5684-8612

e-mail アドレス : info@inbuds.net

## 5 付録・媒体番号一覧

### 5-1 媒体番号順

0-00001	印度学仏教学研究	0-00039	武蔵野女子大学仏教文化研究所 紀要
0-00002	日本仏教学会年報	0-00040	東北大学文学部研究年報
0-00003	東洋文化研究所紀要	0-00041	日本文化研究所研究報告
0-00004	仏教学	0-00042	日本文化研究所研究報告・別巻
0-00005	真宗学（龍谷大学真宗学会）	0-00043	文化（東北大学文学会）
0-00006	仏教学研究（龍谷大学仏教学会）	0-00044	論集（東北印度学宗教学会）
0-00007	仏教文化研究所紀要	0-00045	教化研修（曹洞宗教化研究所）
0-00008	龍谷大学論叢	0-00046	駒沢史学
0-00009	龍谷紀要	0-00047	駒沢大学大学院仏教学研究會年 報
0-00010	龍谷大学大学院紀要（文学研究 科）	0-00048	駒沢大学仏教学部研究紀要
0-00011	高野山大学論叢	0-00049	駒沢大学仏教学部論集
0-00012	仏教学會報	0-00050	宗学研究（曹洞宗宗学研究所）
0-00013	密教学會報	0-00051	宗教学論集（駒沢大学宗教学研究 會）
0-00014	密教研究	0-00052	曹洞宗研究員研究紀要
0-00015	密教文化	0-00053	曹洞宗宗学研究所紀要
0-00016	京都女子学園仏教文化研究所紀 要	0-00054	仏教經濟研究
0-00017	京都女子大学宗教・文化研究所紀 要	0-00055	待兼山論叢
0-00018	人文論叢（京都女子大学人文学 會）	0-00056	九州龍谷短期大学紀要
0-00019	佛教大学研究紀要	0-00057	東北福祉大学紀要
0-00020	佛教大学大学院研究紀要	0-00058	禅学研究
0-00021	東海大学教養学部紀要	0-00059	禅文化
0-00022	東海大学文学部紀要	0-00060	禅文化研究所紀要
0-00023	東海大学文明研究所紀要	0-00061	インド思想史研究
0-00024	文明	0-00062	SaMbhASA
0-00025	文明研究	0-00063	東海仏教
0-00026	望星	0-00064	哲学（広島哲学会）
0-00027	浄土学（浄土学会）	0-00065	広島大学文学部紀要
0-00028	大正大学研究紀要	0-00066	筑紫女学園大学紀要
0-00029	智山学報	0-00067	筑紫女学園短期大学紀要
0-00030	天台学報（山家学会）	0-00068	棲神
0-00031	豊山学報	0-00069	大崎学報
0-00032	密教学研究（密教学會）	0-00070	法華文化研究
0-00033	東洋学報（東洋文庫）	0-00071	日蓮教学研究會紀要
0-00034	金沢大学文学部論集（行動科学科 編）	0-00072	立正大学大学院紀要
0-00035	哲学年報（九州大学）	0-00073	大学院年報（立正大学）
0-00036	西日本宗教学雜誌	0-00074	フィロソフィア
0-00037	西山学報	0-00075	早稲田大学大学院文学研究科紀 要
0-00038	武蔵野女子大学紀要	0-00076	早稲田大学大学院文学研究科紀 要別冊

# INBUDS データ採取マニュアル

0-00077	東洋の思想と宗教	0-00121	神戸女子大学教育諸学研究論文 集
0-00078	東洋思想研究	0-00122	高知工業高等専門学校学術紀要
0-00079	支那仏教史学	0-00123	都城工業高等専門学校研究報告
0-00080	日本仏教史学	0-00124	鹿児島経済大学社会学部論集
0-00081	日華仏教学会年報	0-00125	宗教研究
0-00082	大谷学報	0-00126	京都大学文学部研究紀要
0-00083	大谷大学研究年報	0-00127	南都仏教
0-00084	親鸞教学	0-00128	法政大学教養部紀要
0-00085	仏教学セミナー	0-00129	真宗研究
0-00086	愛知学院大学人間文化研究所紀 要	0-00130	密教学
0-00087	愛知学院大学文学部論叢	0-00131	仏教研究(国際仏教徒協会)
0-00088	禅研究所紀要	0-00132	インド古典研究
0-00089	インド学試論集	0-00133	成田山仏教研究所紀要
0-00090	光華女子短期大学研究紀要	0-00134	鈴木学術財団年報
0-00091	四天王寺国際佛教大学文学部紀 要	0-00135	仏教芸術
0-00092	東洋研究	0-00136	仏教学(山喜房)
0-00093	筑波大学哲学・思想学系論集	0-00137	東方学
0-00094	東京外国語大学論集	0-00138	真宗文化
0-00095	同朋大学論叢	0-00139	駒沢大学禅研究所年報
0-00096	同朋仏教	0-00140	鷹陵史学
0-00097	同朋大学学園仏教文化研究所紀 要	0-00141	駒沢女子短期大学研究紀要
0-00098	同朋大学紀要	0-00142	論叢(筑紫女学園短大)
0-00099	東洋大学文学部紀要	0-00143	思想(岩波書店)
0-00100	東洋大学論纂	0-00144	哲学雑誌(有斐閣)
0-00101	TOYO UNIVERSITY ASIAN STUDIES	0-00145	密教文化研究所紀要
0-00102	東洋大学大学院紀要(文学研究 科)	0-00146	大倉山学院紀要
0-00103	東洋学研究	0-00147	大倉山論集
0-00104	名古屋大学文学部研究論集	0-00148	中央学術研究所紀要
0-00105	佛教大学仏教文化研究所年報	0-00149	現代密教(智山伝法院)
0-00106	佛教大学仏教文化研究所所報	0-00150	パーリ学仏教文化学
0-00107	宗学院論輯	0-00151	叡山学院研究紀要
0-00108	龍谷学報	0-00152	叡山学報
0-00109	大谷大学大学院研究紀要	0-00153	三康文化研究所年報
0-00110	真宗総合研究所研究所紀要	0-00154	聖徳太子研究
0-00111	鹿児島経大論集	0-00155	真宗研究会紀要(龍谷)
0-00112	北陸宗教文化	0-00156	真宗教学研究
0-00113	インド学報	0-00157	豊山教学大会紀要
0-00114	東方	0-00158	花園大学研究紀要
0-00115	人文学論集(佛教大学)	0-00159	仏教美術
0-00116	印度哲学仏教学	0-00160	北海道駒沢大学研究紀要
0-00117	龍谷教学	0-00161	インド哲学仏教学研究
0-00118	長崎大学教育学部社会科学論叢	0-00162	The Pure Land
0-00119	長崎大学教育学部人文科学研究 報	0-00163	島根県立国際短期大学紀要
0-00120	神戸女子大学紀要文学部篇	0-00164	佛教大学仏教学会紀要
		0-00165	顯真学報
		0-00166	顯真学苑論集
		0-00167	理想
		0-00168	地域総合研究
		0-00169	日本学士院紀要

## INBUDS データ採取マニュアル

0-00170	国学院雑誌	0-00189	国際仏教学大学院大学研究紀要
0-00171	国学院大学紀要	0-00190	哲学・思想論叢
0-00172	金沢大学文学部紀要(行動科学科 篇)	0-00191	花園大学文学部研究紀要
0-00173	光華日本文学	0-00192	駒沢短期大学研究紀要
0-00174	駒沢短期大学仏教論集	0-00193	精神科学(日本大学哲学会)
0-00175	鶴見大学仏教文化研究所紀要	0-00194	日本大学人文科学研究所紀要
0-00176	鶴見大学紀要(第4部人文・社 会・自然科学編)	0-00195	松ヶ岡文庫研究年報
0-00177	身延論叢	0-00196	日本文化研究
0-00178	東洋文化研究所所報(身延山)	0-00197	宗教学・比較思想学論集
0-00179	教化研究	0-00198	東方学報(京都)
0-00180	論叢アジアの文化と思想	2-00001	千葉乗隆博士古稀記念論集『日本 の社会と仏教』
0-00181	インド学チベット学研究	2-00002	北畠典生教授還暦記念『日本の仏 教と文化』
0-00183	法政大学文学部紀要	2-00003	勝呂信静博士古稀記念論文集
0-00184	駒沢短期大学紀要	2-00004	浅井円道先生古稀記念論文集『日 蓮教学の諸問題』
0-00185	双榎学報	2-00888	伊原照蓮博士古稀記念論文集
0-00186	仏教文化		図書の媒体番号は、暫定的なものです。
0-00187	仏教文化研究論集		
0-00188	マハーラーシュトラ		

## 5-2 アルファベット・よみ順

アルファベット		叡山学報	0-00152
SaMbhASA	0-00062	お	
The Pure Land	0-00162	鷹陵史学	0-00140
TOYO UNIVERSITY ASIAN STUDIES	0-00101	大崎学報	0-00069
あ		大倉山学院紀要	0-00146
アジアの思想と文化	0-00180	大倉山論集	0-00147
愛知学院大学人間文化研究所紀 要	0-00086	大谷学報	0-00082
愛知学院大学文学部論叢	0-00087	大谷大学研究年報	0-00083
浅井円道先生古稀記念論文集『日 蓮教学の諸問題』	2-00004	大谷大学大学院研究紀要	0-00109
い		か	
インド学チベット学研究	0-00181	鹿児島経済大学社会学部論集	0-00124
インド学試論集	0-00089	鹿児島経大論集	0-00111
インド学報	0-00113	金沢大学文学部紀要(行動科学科 篇)	0-00172
インド古典研究	0-00132	金沢大学文学部論集(行動科学科 編)	0-00034
インド思想史研究	0-00061	き	
インド哲学仏教学研究	0-00161	北畠典生教授還暦記念『日本の仏 教と文化』	2-00002
伊原照蓮博士古稀記念論文集	2-00888	九州龍谷短期大学紀要	0-00056
印度学仏教学研究	0-00001	教化研究	0-00179
印度哲学仏教学	0-00116	教化研修(曹洞宗教化研究所)	0-00045
え		京都女子学園仏教文化研究所紀 要	0-00016
叡山学院研究紀要	0-00151		

# INBUDS データ採取マニュアル

京都女子大学宗教・文化研究所紀要	0-00017	真宗総合研究所研究所紀要	0-00110
		真宗文化	0-00138
京都大学文学部研究紀要	0-00126	親鸞教学	0-00084
		人文学論集（佛教大学）	0-00115
け		人文論叢（京都女子大学人文学会）	0-00018
顕真学苑論集	0-00166		
顕真学報	0-00165	す	
現代密教（智山伝法院）	0-00149	勝呂信静博士古稀記念論文集	2-00003
		鈴木学術財団年報	0-00134
こ		せ	
光華女子短期大学研究紀要	0-00090	棲神	0-00068
光華日本文学	0-00173	禅学研究	0-00058
高知工業高等専門学校学術紀要	0-00122	禅研究所紀要	0-00088
高野山大学論叢	0-00011	禅文化	0-00059
神戸女子大学紀要文学部篇	0-00120	禅文化研究所紀要	0-00060
神戸女子大学教育諸学研究論文集	0-00121		
国学院雑誌	0-00170	そ	
国学院大学紀要	0-00171	双椋学報	0-00185
国際仏教学大学院大学研究紀要	0-00189	曹洞宗研究員研究紀要	0-00052
駒沢史学	0-00046	曹洞宗宗学研究所紀要	0-00053
駒沢女子短期大学研究紀要	0-00141		
駒沢大学禅研究所年報	0-00139	た	
駒沢大学大学院仏教学研究会年報	0-00047	大正大学研究紀要	0-00028
駒沢大学仏教学部研究紀要	0-00048	ち	
駒沢大学仏教学部論集	0-00049	地域総合研究	0-00168
駒沢短期大学紀要	0-00184	智山学報	0-00029
駒沢短期大学研究紀要	0-00192	筑紫女学園大学紀要	0-00066
駒沢短期大学仏教論集	0-00174	筑紫女学園大学・短期大学国際文化研究所論叢	0-00182
さ		筑紫女学園短期大学紀要	0-00067
三康文化研究所年報	0-00153	千葉乗隆博士古稀記念論集『日本の社会と仏教』	2-00001
し		中央学術研究所紀要	0-00148
四天王寺国際佛教大学文学部紀要	0-00091	つ	
思想（岩波書店）	0-00143	筑波大学哲学・思想学系論集	0-00093
支那仏教史学	0-00079	鶴見大学紀要（第4部人文・社会・自然科学編）	0-00176
島根県立国際短期大学紀要	0-00163	鶴見大学仏教文化研究所紀要	0-00175
宗学院論輯	0-00107		
宗学研究（曹洞宗宗学研究所）	0-00050	て	
宗教学論集（駒沢大学宗教学研究会）	0-00051	哲学（広島哲学会）	0-00064
宗教学研究	0-00125	哲学雑誌（有斐閣）	0-00144
聖徳太子研究	0-00154	哲学・思想論叢	0-00190
浄土学（浄土学会）	0-00027	哲学年報（九州大学）	0-00035
真宗学（龍谷大学真宗学会）	0-00005	天台学報（山家学会）	0-00030
真宗教学研究	0-00156		
真宗研究	0-00129	と	
真宗研究会紀要（龍谷）	0-00155		

# INBUDS データ採取マニュアル

東海大学教養学部紀要	0-00021	広島大学文学部紀要	0-00065
東海大学文学部紀要	0-00022		
東海大学文明研究所紀要	0-00023	ふ	
東海仏教	0-00063	フィロソフィア	0-00074
東京外国語大学論集	0-00094	豊山学報	0-00031
東方	0-00114	豊山教学大会紀要	0-00157
東方学	0-00137	仏教学	0-00004
東方学報（京都）	0-00198	仏教学セミナー	0-00085
東北大学文学部研究年報	0-00040	仏教学会報	0-00012
東北福祉大学紀要	0-00057	仏教学研究（龍谷大学仏教学会）	0-00006
東洋の思想と宗教	0-00077	仏教経済研究	0-00054
東洋学研究	0-00103	仏教芸術	0-00135
東洋学報（東洋文庫）	0-00033	仏教研究（国際仏教徒協会）	0-00131
東洋研究	0-00092	佛教大学研究紀要	0-00019
東洋思想研究	0-00078	佛教大学大学院研究紀要	0-00020
東洋大学大学院紀要（文学研究 科）	0-00102	佛教大学仏教学会紀要	0-00164
東洋大学文学部紀要	0-00099	佛教大学仏教文化研究所報	0-00106
東洋大学論纂	0-00100	佛教大学仏教文化研究所年報	0-00105
東洋文化研究所紀要	0-00003	仏教美術	0-00159
東洋文化研究所報（身延山）	0-00178	仏教文化	0-00186
同朋大学学園仏教文化研究所紀 要	0-00097	仏教文化研究所紀要	0-00007
同朋大学紀要	0-00098	仏教文化研究論集	0-00187
同朋大学論叢	0-00095	文化（東北大学文学会）	0-00043
同朋仏教	0-00096	文明	0-00024
		文明研究	0-00025
		ほ	
な		法華文化研究	0-00070
名古屋大学文学部研究論集	0-00104	法政大学教養部紀要	0-00128
長崎大学教育学部社会科学論叢	0-00118	法政大学文学部紀要	0-00183
長崎大学教育学部人文科学研究 報	0-00119	望星	0-00026
成田山仏教研究所紀要	0-00133	北海道駒沢大学研究紀要	0-00160
南都仏教	0-00127	北陸宗教文化	0-00112
		ま	
に		待兼山論叢	0-00055
日華仏教学会年報	0-00081	マハーラーシュトラ	0-00188
日本学士院紀要	0-00169		
日本仏教学会年報	0-00002	み	
日本仏教史学	0-00080	密教学	0-00130
日本文化研究所研究報告	0-00041	密教学会報	0-00013
日本文化研究所研究報告・別巻	0-00042	密教学研究（密教学会）	0-00032
日蓮教学研究紀要	0-00071	密教研究	0-00014
西日本宗教学雑誌	0-00036	密教文化	0-00015
		密教文化研究所紀要	0-00145
は		身延論叢	0-00177
パーリ学仏教文化学	0-00150	都城工業高等専門学校研究報告	0-00123
花園大学研究紀要	0-00158		
花園大学文学部研究紀要	0-00191	む	
		武蔵野女子大学紀要	0-00038
ひ		武蔵野女子大学仏教文化研究所	0-00039

# INBUDS データ採取マニュアル

## 紀要

り

理想	0-00167
立正大学大学院紀要	0-00072
立正大学大学院年報	0-00073
龍谷学報	0-00108
龍谷紀要	0-00009
龍谷教学	0-00117
龍谷大学大学院紀要（文学研究科）	0-00010
龍谷大学論集	0-00008

る

論集（東北印度学宗教学会）	0-00044
論叢（筑紫女学園短大）	0-00142

わ

早稲田大学大学院文学研究科紀要	0-00075
早稲田大学大学院文学研究科紀要別冊	0-00076

## INBUDS データ採取マニュアル（改訂版）

---

1997年12月25日	改訂第1版発行
1998年3月4日	第2版発行
1998年7月1日	第3版発行
1999年8月1日	第4版発行
2002年1月25日	第5版発行
2003年7月1日	第6版発行

著者・発行者

日本印度学仏教学会データベースセンター  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-33-5 日本信販ビル  
東京大学仏教青年会内  
Tel/Fax 03-5684-8612  
電子メール info@inbuds.net

---